

みんなで地域づくり事業企画書

団体名	四街道こどもまちづくりプロジェクト実行委員会
事業名	みんなの、みんなによる、みんなのための、「まちづくりプロジェクト」
目的・必要性	<p>平成 28 年度に鷹の台公園にて子どもがつくるこどものまちのコンセプトで「吉岡こどもまちづくりプロジェクト 2016」を開催しました。「こどものまち」の準備から実施を通して、子どもから大人、地域の大学生、市民団体が関わりながら企画実施し、地域でつながることの暖かさを感じ、コミュニケーションを育むきっかけをつくることができました。</p> <p>初めての取り組みで順調なことばかりではありませんでしたが、プレーパーク（冒険遊び場）や大人カフェも開催し、地域で活動する市民団体、サークルなどの地域資源を最大限に利用し、多世代も参加できる取り組みにもなりました。同時にこども・地域・大学という様々な主体が関われる仕組みづくりの必要性と可能性を感じました。</p> <p>このようにしてできたきっかけをさらに深め、広げ、更には継続して「こどものまち」実施することで、地域で多世代が繋がり交流できる場を創出することができます。</p> <p>さらには、この取り組みをモデルとして、四街道市他の地区でも安心安全のまちづくりの一つとして地区を超えて展開していきます。</p>
内容	<p>1. 鷹の台公園を使用して、「こどものまち」を開催します。</p> <p>「こどものまち」とは、子どもたちが企画する子ども達の仮想のまちです。地域通貨を発行する銀行や市役所、警察など様々な仕事があり、仕事をとって得た通貨で、子どもたちが働くカフェ等で食事をしたり、ジュースを飲んだり、遊んだりします。こどものまちには大人が介入せず、大学生や市民団体が子どもたちのサポートをします。</p> <p>時期：8 月末の土日（2 日開催） 場所：四街道市鷹の台公園 対象：四街道市内及び隣接市町の子ども、地域、子育て中の親子 参加想定人数：1,000 人（平成 28 年度 500 人/1 日開催）</p> <p>2. 「こどものまち」の開催と合わせて、多世代が楽しめ、子どもの主体性を育む「プレーパーク（冒険遊び場）」と、大人もくつろげる「大人カフェ」も開催します。</p> <p>3. こどものまちの開催に向けて、東京情報大学や植草学園大学の協力も得て、大学生が中心になって毎月定例ミーティングを開催し、企画内容を検討し、準備を進めます。ミーティング回数：15 回程 場所：四街道市吉岡小学校、鷹の台自治会集会所 また、若葉区や千葉市など他地区の「こどものまち」を視察します。</p> <p>4. 開催にあたっては、隣接する千葉市御成台、千城台のコミュニティとも連携をはかり、行政の垣根を超えた、まちづくりを目指します。</p> <p>5. 本プロジェクトの記録を写真や映像で記録し、SNS、Facebook、YouTube へ公開し、多くの方にご覧いただけるようにします。成果物は本プロジェクトの参画者と共有する他、実行委員会で保管し、他地区や他団体が同様の事業をする際の教材、参考資料として活用します。</p>

様式第2号（第7条）

	時期	具体的な取組
スケジュール	4月~7月	定例会議（ワークショップ）・事前準備（15回程度） 説明会、店やまちづくりの検討、担当決め、店の準備 看板作り、パンフレットの準備やチラシ印刷など 他地区「こどものまち」の視察
	8月26・27日	鷹の台公園で開催（2日間開催予定）
	9月	振り返り、まとめ、報告書作成
	役割分担の想定	（団体の役割） ・こどものまちの企画、実施、振り返りの実施 ・地域、大学、市民団体の連携と調整
（市の役割） 都市計画課（都市公園の使用協力） 社会教育課（案内の配布協力）		
他団体との連携	・東京情報大学、植草学園大学（ゼミや大学を通じての学生の参加） ・鷹の台自治会（備品の貸し出し、集会所の利用、事業サポート） ・おうちプラス+、NPO 法人四街道プレーパークどんぐりの森（事業協力）等市民団体 ・吉岡小学校、旭中学校区小中学校、千城台、御成台地区小中学校（案内の配布、場所の提供）	
期待される成果	<p>子どもたちが、学校の先生や、親以外の第三者の大人と関わることで、悩みや喜びを共有できるお兄さんやお姉さんと出会うことができ、安心して育ち暮らしていく地域を、次世代に受け継いでいけるものと考えます。</p> <p>大学生にとっても、地域住民と交わりながら事業に関することで、実践の場として、またコミュニケーション力を育む場ともなります。</p> <p>四街道市の中心部から離れている地域でも、隣接する他市との交流によって、より魅力的な地区として、住民の満足度も上がることなどが期待されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者目標 1000人 ・子どもスタッフ参加者目標 60人、大学生参加者目標 20人 ・Facebook ページ 300 いいね！ <p>今回連携を図る大学で活動実績を積むことにより、活動自体を学校のオフィシャルなものにし、人材確保を無償化し、活動自体を多くの方々に認知して頂くことにより、資金確保をより確実にしたいと考えています。</p> <p>また、クラウドファンディングなどの有効活用によっても資金確保を考えています。</p>	

備考

- 1 「役割分担の想定」のうち（市の役割）は、事業形態がサポート型にあつては、役割がある場合に記載してください。
- 2 「期待される効果」は、数値等を記載してください。